

# 信州にふさわしい自然エネルギーは何か!

◇ 2008年4月12日(土) 午後1時開場 1時30分開会(5時終了)

◇ 長野県社会福祉総合センター

3F 講堂(ビッグハット向かい)



◇ 主催：シンポジウム実行委員会(コペルニクス、小諸・エコエネ研、信州気候フォーラム、長野イヌワシ研究会、長野ソフトエネルギー資料室、長野県勤労者山岳連盟、長野県山岳環境保全研究会、長野県山岳協会、長野県自然保護連盟、日本野鳥の会伊那支部・軽井沢支部・木曾支部・諏訪支部・長野支部、入笠山周辺の風力発電をやめさせる会、根子岳風力発電を考える連絡協議会、)

◇ 後援：(財)日本自然保護協会、(財)日本野鳥の会、(財)WWFジャパン・長野市・須坂市

自然豊かな長野県においては風力発電、小水力発電、太陽光発電など様々な自然エネルギーの利用が考えられます。反面で、日本の屋根である長野県はデリケートな山岳環境を抱えており、自然エネルギーを利用するための開発行為には環境破壊の懸念が伴うという問題があります。私たちは右肩上がりのエネルギー浪費社会を改め長野県にふさわしい自然エネルギーとは何なのかを真剣に考えていかななくてはなりません。次世代へ引き継いでいくべき豊かさとは何か、私たちは未来に対して何を選択すべきなのか各分野の方々を交えながら考えてみたいと思います。

基調講演 「エネルギー栽培型社会と森と風と水のエネルギー」

牛山 泉 氏(足利工業大学副学長)

パネルディスカッション

パネラー

牛山 泉 氏(足利工業大学副学長)

高木 直樹 氏(元 長野県環境審議会地球温暖化対策専門委員会委員長  
・信州大学工学部准教授)

丸山 幹夫 氏(長野県小水力利用推進協議会副会長)

岡本 一道 氏(小諸エコエネ研)

コーディネーター

渡辺 隆一 氏(信州大学教育学部教授)

◇ 資料代 500円

連絡先：380-8544 長野市西長野6 信州大学教育学部 渡辺隆一  
Tel&Fax 026.238.4164 wataryu@shinshu-u.ac.jp